

前期基本計画 平成28年度 基本施策方針評価書

政 策 : 02 健やかで笑顔にあふれ、互いに支えあうまちを目指します

基本施策 : 05 住みなれた地域で暮らし続けられる地域包括ケアの実現

主管課長職・氏名	地域包括支援センター長 佐藤 修子
関係課長職・氏名	高齢者支援課長 鈴木常明

1. 基本施策の平成28年度までの実現状況を明らかにする

(1) 基本施策が4年間でめざす姿

	一人一人が輝き、健やかで笑顔あふれるまちづくりのため、医療、介護、予防、住まい、生活支援が一体的に提供され、多様な地域の社会資源で支えあう、住みなれた地域で安心して暮らし続けることのできる地域包括ケアシステムの構築をめざし、在宅医療・介護連携や認知症施策の推進をするとともに、生活支援サービスの体制整備を図ります。	
--	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

(2) 基本施策目標値の達成状況

No	この基本施策に関わる基本施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	進捗率(%)	
1	幸 福 地域とつながっていると感じている人の割合 <u>単 位</u> %	37.2	38	40	42	44	46	C	
			35.9	38.2	-	-	-	11.4	
2	暮 ら し 老後が不安なく暮らせると思っている人の割合 <u>単 位</u> %	14.4	14.6	14.8	15	15.2	15.4	A	
			15.7	16.6	-	-	-	220.0	
	<u>単 位</u>								

(3) 基本施策を構成する施策及び目標値の達成状況

No	施 策 名 施 策 目 標 指 標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	進捗率(%)	
1	暮 ら し 02050100 継続した包括支援の実施 老後が不安なく暮らせると思っている人の割合 <u>単 位</u> %	14.4	14.6	14.8	15	15.2	15.4	A	
			15.7	16.6	-	-	-	220.0	
2	幸 福 02050100 継続した包括支援の実施 地域とつながっていると感じている人の割合 <u>単 位</u> %	37.2	38	40	42	44	46	C	
			35.9	38.2	-	-	-	11.4	
3	暮 ら し 02050200 介護予防の推進 自分が心身ともに元気と感じている人の割合 <u>単 位</u> %	57.1	58	58.6	59.3	60	60.5	B	
			57	58.4	-	-	-	38.2	
4	幸 福 02050200 介護予防の推進 地域に役立つ機会を持っていると感じている人の割合 <u>単 位</u> %	28.8	30	33	36	39	42	B	
			30.7	32.1	-	-	-	25.0	
5	暮 ら し 02050300 日常生活支援総合事業の適正な実施 老後が不安なく暮らせると思っている人の割合 <u>単 位</u> %	14.4	14.6	14.8	15	15.2	15.4	A	
			15.7	16.6	-	-	-	220.0	

前期基本計画 平成28年度 基本施策方針評価書

政 策：02 健やかで笑顔にあふれ、互いに支えあうまちを目指します

基本施策：05 住みなれた地域で暮らし続けられる地域包括ケアの実現

主管課長職・氏名	地域包括支援センター長 佐藤 修子
関係課長職・氏名	高齢者支援課長 鈴木常明

2. 基本施策の実現に向けての平成28年度までの取り組み状況を分析する

(1) 基本施策目標の達成（実現）に向けた計画期間内の取り組みと方針についての達成（実現）状況

A	達成した
<p>第6期滝沢市高齢者保健福祉計画に基づき、高齢者が住みなれた地域で安心して暮らし続けられることができるよう、認知症施策を継続推進するとともに、地域における医療・介護の関係機関が連携できるよう取り組みました。また、地域の支え合いの体制づくりを推進するため生活支援体制整備に取り組みました。</p>	

(2) 基本施策内の取り組みと方針のうち、平成28年度の重点課題の達成（実現）状況

A	達成した
<p>【重点課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症施策の継続推進及び在宅医療・介護連携支援 ・生活支援体制整備の基盤整備 <p>【重点課題に対する達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症施策の継続と在宅医療・介護連携推進による医療と介護の一体的提供のための支援を行いました。 ・生活支援体制整備によるコーディネーターの配置と協議体を設置しました。 	

3. 基本施策の実現に向けての平成28年度実施後での変化を認識する

(1) 基本施策の実現に影響する社会環境変化

B	社会環境変化あり
<p>高齢化が進展することによる、社会保障制度改革等国の施策、動向に注視するとともに、多様化するニーズに対応することができる体制整備が必要となります。</p>	

(2) 政策との関連性から基本施策の見直し

A	必要なし
<p>政策達成のため、引き続き同一内容の基本施策の実施が必要であるため、見直しの必要はありません。</p>	

4. 基本施策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

(1) 平成30年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

B	課題あり
<p>【今後の方向性】</p> <p>高齢者が、地域で安心して在宅生活できるよう、引き続き地域包括ケアシステムの構築推進に向け、継続した包括支援の実施、介護予防の取り組みに注力していきます。</p> <p>【引継課題】</p> <p>支援を必要とする高齢者や高齢者単身世帯の増加による生活支援ニーズの拡大が見込まれるため、在宅生活を支える地域づくりなど体制整備の調査検討の継続が必要です。</p>	

